

報 道 資 料

平成21年10月7日

市町村振興課税政グループ

担当 常田 辻 (内線 2253・2258)

平成21年度市町村税徴収事務特別表彰について

地方の財政において地域間格差の拡大や昨今の急激な景気後退により、徴収環境が悪化してきています。そのような中、地方自治行政の原資である税収の確保が各市町村における課題となっています。

奈良県税務協議会では、日頃徴収事務に携わる職員の士気を高め、よりよい市町村地方自治行政の実現に資することを目的として、特に顕著な成果を収めた団体を表彰する制度を、平成18年度から設けています。

今年度の特別表彰団体は、王寺町となりました。

また、特別表彰団体に次ぐ成果を収めた団体として、川西町、斑鳩町、高取町を表彰します。

平成21年度 市町村税徴収事務特別表彰の概要

1. 表彰式 (奈良県税務協議会総会で表彰)

日 時 平成21年10月26日(月)午後1時30分～

場 所 奈良市法華寺町254-1 奈良ロイヤルホテル「鳳凰の間」

2. 表彰団体 4団体 王寺町(特別表彰団体)、川西町、斑鳩町、高取町(優秀団体)

3. 表彰理由

- ①王寺町・・・都市近郊の町でありながら、合計徴収率が県4位であることをはじめ、差押件数235件、1人あたりの差押件数39件で、ともに県2位。また、滞納繰越調定額に占める不納欠損額(消滅時効によるもの)の割合が0%である。
- ②川西町・・・1人あたり差押え件数県6位をはじめ、徴収率・圧縮額・滞納処分件数等において、万遍なく優秀な成績を収めた。また、平成20年度不動産公売においても成果を上げている。
- ③斑鳩町・・・滞納繰越圧縮率県2位をはじめ、徴収率伸率においても県5位。特に滞納繰越分における圧縮努力が目立っているが、その他項目においても優秀な成績を収めている。
- ④高取町・・・滞納繰越圧縮率、1人あたりの差押件数でともに県1位。滞納繰越調定額に占める不納欠損額(消滅時効によるもの)の割合以外は、軒並み県内トップクラスの成績を収めている。

4. 奈良県税務協議会について

県及び市町村の税務関係職員をもって組織され、税務職員の資質向上や相互の協力体制確立を図り、県と市町村を通ずる税務行政の円滑な運営を期することを目的としている。

会長は県総務部長。